

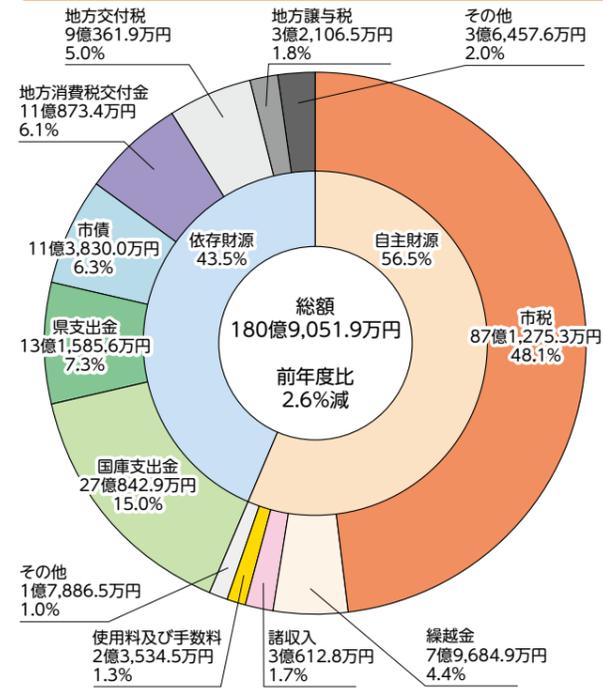
# 令和4年度 決算報告

令和4年度歳入歳出決算が、議会において認定されました。市民・事業所の皆さんなどから納めていただいた税金などが、どのように使われたのかをお知らせします。

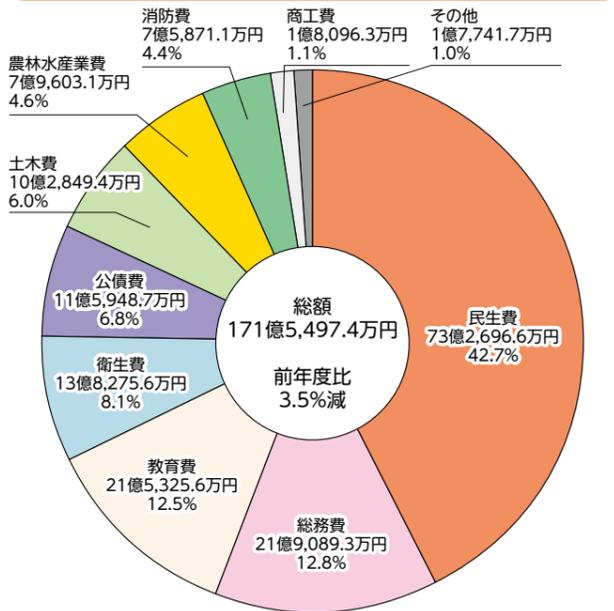
一般会計では歳入決算額 180 億 9,051.9 万円(前年度比 2.6%減)に対し、歳出決算額 171 億 5,497.4 万円(前年度比 3.5%減)となり、実質収支が 9 億 3,554.5 万円の黒字になりました。

また、令和4年度のみ収支を示す単年度収支は 1 億 4,882.8 万円の黒字となり、その額に実質的な黒字・赤字の要素である令和4年度中の財政調整基金への積み立てや取り崩しを加味した実質単年度収支は、4 億 758.3 万円の黒字になりました。

## 一般会計 歳入



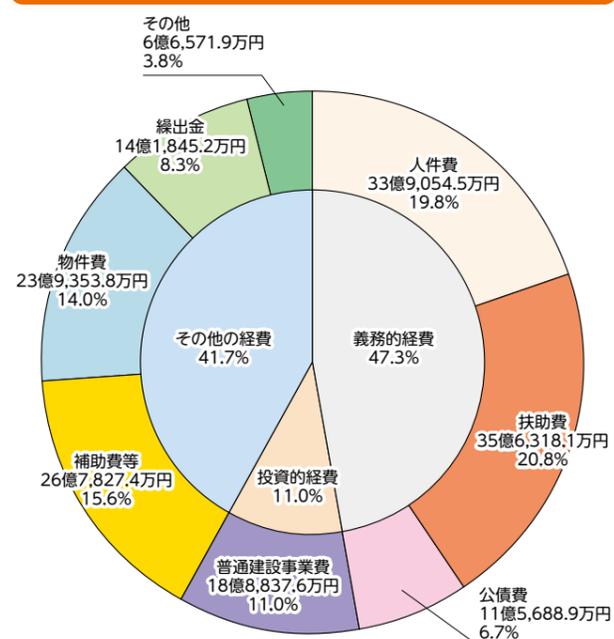
## 一般会計 歳出(目的別)



## 主な歳出事業

<b>■総務費</b>	
協働のまちづくり推進事業	1 億 1,799.2 万円
コミュニティバス運行事業	1 億 1,435.5 万円
<b>■民生費</b>	
子ども医療費助成事業	2 億 2,369.9 万円
後期高齢者医療事業	4 億 7,986.0 万円
<b>■衛生費</b>	
海部南部水道企業団負担金事務	1 億 118.1 万円
ごみ収集事業	2 億 1,417.7 万円
<b>■農林水産業費</b>	
農業基盤整備事業	1 億 9,066.6 万円
<b>■土木費</b>	
道路改良事業	2 億 320.8 万円
<b>■消防費</b>	
海部南部消防組合負担金事務	6 億 2,417.7 万円
<b>■教育費</b>	
小学校管理運営事業 (うち弥生小学校長寿命化改良工事)	7 億 2,172.0 万円

## 一般会計 歳出(性質別)



## 特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額
土地取得	3億7,138.0万円	3億7,138.0万円
国民健康保険	39億1,618.9万円	38億7,279.7万円
後期高齢者医療	6億6,645.5万円	6億6,237.3万円
介護保険	35億7,232.3万円	34億8,766.8万円
合計	85億2,634.7万円	83億9,421.8万円

## 企業会計

会計名	収益的収支	資本的収支
下水道事業	収入額	7億9,554.7万円
	支出額	9億5,781.4万円
		8億8,982.0万円

※ 資本的収入額(翌年度繰越額に係る財源充当額 8,184.0 万円を除く。)が資本的支出額に不足する額 2 億 4,410.7 万円は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額 3,313.8 万円、過年度分損益勘定留保資金 6,136.9 万円および当年度分損益勘定留保資金 1 億 4,960.0 万円にて補てんしました。

## 市債(長期借入金)の借入状況

会計区分	3年度末現在高	4年度末現在高	増減
一般会計	151億8,955.5万円	152億616.9万円	1,661.4万円
土地取得特別会計	0円	3億7,130.0万円	3億7,130.0万円
企業会計	82億312.8万円	83億5,889.4万円	1億2,576.6万円
合計	233億9,268.3万円	239億3,636.3万円	5億4,368.0万円

## 【一般会計の市債現在高】

	3年度末現在高	4年度末現在高	増減
市民1人当たり	344,817円	346,801円	1,984円
1世帯当たり	826,822円	818,504円	△8,318円

※ 令和4年1月1日現在の弥富市の人口は 44,051 人、世帯数は 18,371 世帯  
※ 令和5年1月1日現在の弥富市の人口は 43,847 人、世帯数は 18,578 世帯

## 基金(将来の蓄え)の状況

市は令和4年度末現在、特定の目的のために9の基金を設けています。大きく分けると一般会計の基金が6(財政調整基金など)、資金を運用する基金が1(土地開発基金)、特別会計の基金が2(国民健康保険支払準備基金など)あります。

	3年度末現在高	4年度末現在高	増減
一般会計	22億8,943.5万円	26億3,775.4万円	3億4,831.9万円
市民1人当たり	51,972円	60,158円	8,186円
1世帯当たり	124,622円	141,983円	17,361円

## 健全化判断比率などの公表

健全化判断比率とは、地方公共団体の財政の健全性に関する比率の公表の制度を設け、当該比率に応じて財政の早期健全化および財政の再生ならびに公営企業の経営の健全化を図るための行財政上の措置を講ずることにより、地方公共団体の財政の健全化に資することを目的とする「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、各地方公共団体が算出・公表する指標のことです。

公表するのは、健全化判断比率のうち、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の4指標と資金不足比率です。

令和4年度決算に基づき算定された弥富市の健全化判断比率および資金不足比率は、下表のとおりで、全て基準を下回っておりますが、今後も慎重な財政運営に取り組みます。(単位：%)

	指標	弥富市	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	①実質赤字比率	-	13.17	20.00
	②連結実質赤字比率	-	18.17	30.00
	③実質公債費比率	5.0	25.0	35.0
	④将来負担比率	88.0	350.0	

※実質赤字額、連結実質赤字額がないため「- (該当なし)」で表示しています。

(単位：%)

	指標	企業会計	弥富市	経営健全化基準
資金不足比率		農業集落排水事業会計	-	20.00
		公共下水道事業会計	-	

※資金不足比率がない会計は「- (該当なし)」で表示しています。